

大江山製造所は宮津市・与謝野町と連携し、 市内・町内で使用済み使い捨てカイロのリサイクルに取り組みます

昨年度の冬季に当社大江山製造所（京都府宮津市：以下「当製造所」と表記）は宮津市と連携し、使用済み使い捨てカイロを資源化する実証事業を実施しましたが（昨年度回収量：約 1.7t）、本年度の 12 月 1 日からは本格実施として取り組みを継続します。なお、新たに与謝野町との連携も開始します。

この取り組みは、市内・町内の幼稚園・小中学校・市役所・町役場などに設置された回収箱に集められた使用済み使い捨てカイロを、当製造所で生産するフェロニッケル()の原料として有効活用するものです。

フェロニッケル：鉄とニッケルの合金で鉄鋼製品に用いる中間原料の総称

当製造所は宮津市・与謝野町および市民・町民の方々のご協力をいただきながら、地域課題の一つであるごみの削減と再資源化に取り組み、未来に向けた持続可能な社会づくりを目指してまいります。



設置する回収箱



11/25に当製造所において、本事業の実施に係る協定の調印式が実施されました。



左より宮津市の城崎市長、当製造所長の大塚

本件に関する宮津市のプレスリリースにつきましては以下の URL をご参照願います。

URL : <https://www.city.miyazu.kyoto.jp/uploaded/attachment/13900.pdf>